

『真光寺川 里親の会』通信

8月号 一通算第147号

2013年8月11日

真光寺中、出前講座で真光寺川を学習しました 体験学習は台風のため残念ながら中止!

今年も担任の飯田先生から例年通り真光寺川での学習をしたいというご連絡を頂きました。6月6日(木)午後「出前講座」をいたしました。早めに伺いましたので戸塚校長先生にお目にかかり、観察池のメダカが元気で繁殖していること、真光寺川での体験講座を続けていきたいこと等伺うことができました。

定刻、体育館に1年生・115名が整然と並んでいました。例年感心するのですが生徒の代表が全体を仕切り、終わりは「お礼の言葉」で締めくくられます。気持ちよくお話しすることができました。特に真光寺川の特徴や歴史、清掃等会の活動などをお話ししました。

6月13日(木)季節はずれの台風襲来のため予定した体験学習は中止になってしまいました。当日は会員数名が支援し、広袴公園から開戸親水へ至る観察、下堰親水周辺での清掃作業を予定していましたが残念でした。

後日、飯田先生から「本年度は実際の川での活動はできませんでしたが、先日のお話や、学校に送って下さる里親通信や、観察池のメダカのことなど、生徒に話していきたいと存じます」としたためたお手紙と写真が送られてきました。



出前講座に聞き入る真光寺中の生徒

(文 山口 拓郎)

CODで見る真光寺川の水質—身近な水環境全国一斉調査から

全国で水質調査を実践している市民団体等が国土交通省及び(財)河川環境管理財団と連携して、「身近な水環境全国一斉調査」ということで河川の水質を調査しています。

2004年から始まり今年で10年目を迎えました。エコネット町田(当会の親組織)は第1回から参加し、真光寺川、鶴見川、恩田川、境川の各3地点ずつの計12地点で観測しています。

6月4日が世界環境デー(環境の日)であるところから、その日に一番近い日曜日の午前中に原則的に調査が実施されます。測定項目は気温、現地水温、試水水温、COD(化学的酸素要求量)で、CODは1地点3回のパックテストにより測定しています。採水は河川の中央部分で川上に向かって行う等、採水やCODの測定方法について厳密な指定があります。

真光寺川についてのCODの結果は下表のとおりです。(単位:mg/l)

子供たちを川で遊ばせる基準としては、CODが5mg/l以下が望ましいとされています。

残念ながら真光寺川は2010年頃から各地点で高くなっています。(水質が悪くなっています)

| 調査場所 | 04年 | 05年 | 06年 | 07年 | 08年 | 09年 | 10年 | 11年 | 12年 | 13年 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 元駐在所裏 | 3 | 1 | 2 | 5 | 1 | 3 | 5 | 6 | 5 | 5 |
| 下堰親水 | 4 | 4 | 3 | 4 | 2 | 4 | 7 | 5 | 6 | 7 |
| 開戸親水 | 4 | 3 | 5 | 4 | 2 | 5 | 7 | 4 | 6 | 4 |

値は3回測定の中央値です。

(文 山本 隆治)

真光寺川の源流調査～水源地は荒れ、水量が激減

真光寺川の川祭りの実施を検討する前に、源流の水量や水質はどうなっているのか調査が必要との声が上がりに、5月17日(金)に会員有志7名が参加して源流調査に出かけました。この日は風さわやかな新緑のきれいな天候に恵まれ、午前10時にスーパー三和前に集合し、主要な3か所の源流の調査に出かけました。

1か所は鶴川サナトリウムのそばの電源開発Jパワー変電所の南の斜面から浸み出す一筋の源流です。この流域はかつて沢ガニが生息し、和光小学校が源流探検に訪れ遊んだところでもあります。前にたどった道が失われ、竹やぶをかき分けようやくたどり着きました。斜面は湿ってはいましたが水の流れはありませんでした。この斜面の地主さんにうかがうと、最近雨が多いときは一時的に川筋になるが普

段は雨が降っても地下に吸い込まれ川筋にならないとのこと、湧水量がかなり減ってしまったという。

2か所目は和光幼稚園裏の三社権現（布田道）下の南斜面から湧き出る源流です。この源流は真光寺第一水路と呼ばれています。源流域は草でおおわれ水も見えませんでした。以前源流が流れていた農園で作業していた人からは最近では水が枯れているとの話も聞きました。

3か所目はサナトリウム病院の横を流れる旧飯守川の源流です。源流域は建設残土が捨てられ、2年前は鉄分を含んだ湧水が見えましたが、この日は流れを見ることができませんでした。

3か所とも水源地が荒れ、湧水の流れを直接確認できませんでした。しかし源流から少し下って観泉寺あたりまで来ると川の流れがあります。地下に吸い込まれた源流の水が途中で地上に出て、人間の出す雑排水と合わさり、わずかな流れとなったものと思われます。真光寺川の水質を改善するために、源流の湧水に期待できない状況を目にしました。むしろ今後さらに悪化する懸念すらあるのではないかと思います。（文：黒田 健夫）



湧水が見えない変電所下の源流域

炭のふとん籠が広袴調整池に設置される

広袴調整池の排水口（展望台の下）を囲むように炭を入れたふとん籠が6月11日に設置されました。昨年10月25日に開かれた真光寺川の環境改善要望会議に基づき、町田市市の下水道部が池の浚渫に引き続き実施されました。大変有難いことです。

少しでも川の水質改善が進むものと期待されます。（山本・隆治記）



青い部分が炭の入ったふとんカゴ

ボランティア募集ポスターを設置

ここ数年清掃に参加する方が少なくなり、高齢化も進んでいます。これまでは里親通信での勧誘やコープ鶴川店でのボランティア募集チラシの掲示などを行ってきましたが、今回川の流域5か所のフェンスに設置しているメダカポストの横にも募集ポスターを掲示しました。

川の近況：広袴調整池・真光寺川の鯉死す

去る5月16日に広袴調整池から真光寺川の神明橋にかけて、大きな鯉が15匹浮きました。また20日には同じ場所で5匹の鯉が死んでいました。町田市市の環境保全課が処理し調べた結果、どこかの私立学校がプールを掃除した塩素を薄めずに流したためだそうです。

6月初め頃には下堰近辺で3匹づつ2回鯉が死んでいました。東京都南東建で処理していただきました。原因は不明です。（山本 隆治記）

メダカポスト

6～7月はコープからの支援、めだかポスト・一木会からのご寄付を合算し23,723円でした。里親の会の活動に対しお寄せいただいたご厚志に深く感謝いたします。

6月・7月の清掃報告

6月9日は13名の方が清掃に参加し、16袋のゴミと自転車2台を川から引き上げました、この日はコイの死骸が3匹浮かんでいました、また水も汚れが目立ちました。また7月14日は12名の方が参加し、ゴミを17袋と車のマフラー、敷きマットなどを回収しました。婚姻色が美しいオイカワなど小魚がたくさん群れをなして泳いでいました。また権現橋から下堰親水あたりの底の石に付着した藻をブラシでゴシゴシ洗い落としました。参加された皆さんにはそれぞれ猛暑のなか熱心に取り組んでいただき、有難うございました。

9月の清掃日は9月8日（日）、10月の清掃日は10月13日（日） ご一緒に川を綺麗にしませんか

清掃（クリーン作戦）は月に1度、第2日曜日に集合し、川の中や川の周辺のゴミを拾います。持ち物は軍手。ごみ袋、火ばさみ、長靴など一部用意があります。一般の方のご参加大歓迎です。

☆集合時間：9:30 下堰親水場（能ヶ谷4丁目、魅力屋ラーメン店裏）

☆クリーン作戦：約1時間半程度。鶴見川との合流点・開戸親水場～広袴調整池の直下の神明橋間を分担してゴミを拾います。解散予定 11:00

『 <http://www.shinkojigawa.com/> 』 ホームページへご意見感想をお寄せ下さい

『真光寺川 里親の会』会長：山本隆治 町田市広袴 3-24-11 e-mail ryuji.yamamoto@beach.ocn.ne.jp

事務局：町田市能ヶ谷 7-32-10 黒田健夫 Tel/Fax 042-708-4269 e-mail kawasemi@shinkojigawa.com